

(別紙1)

自己評価及び外部評価結果
作成日

平成23年 3月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2775002542		
法人名	社会福祉法人 由寿会		
事業所名	グループホーム香寿庵		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪府東大阪市稲田新町1-10-1		
自己評価作成日	平成23年2月10日	評価結果市町村受理日	

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	http://www.osaka-kaigohoken-kohyou.jp
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 カロア
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1 四天王寺堀越ビル
訪問調査日	平成23年3月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>ご利用者が自宅で生活をされていたように香寿庵でもして頂けるよう、家事、特に食事を中心とした近所への買い物、食材を洗ったり、刻んで調理し、仕上げ配膳をし一人ではなく多くの人数で食事をする事の楽しさまた、外食や出前・場所を変えての食事等で喜びを感じて頂いています。併設のデイサービス・特別養護老人ホームの行事などにも参加し交流の場として参加しています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>最寄りのJR片町線(学研都市線)「徳庵駅」から徒歩数分と交通の便がとてもよく、建物の外観も気軽に訪れやすい雰囲気となっています。また、ホーム周辺には緑豊かな広い公園や、昔ながらの活気溢れる商店街などが立ち並び、利用者が地域に溶け込みながら安心して暮らしていくための条件が十分に整っています。さらに、同一法人が運営する介護老人福祉施設や地域包括支援センター等も隣接しているため、利用者や家族の高い安心感につながっているように感じます。ホームで暮らす利用者の表情もとても穏やかで、屋内も掃除が行き届き、清潔感に溢れています。また、職員の温かみのあるさりげない対応なども、利用者にとさらなる安心感をもたらしているように思います。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	香寿庵独自の目標を作成しており、c w 会議でも話をしている。いつでも見られるようフロアーに掲示し、理念を共有している。	「地域密着や利用者本位」の姿勢を大切にした理念に加え、ホームの運営目標も掲げており、それらに沿った適切な個別ケアを全職員が行っています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域開催の祭り・盆踊りの参加・子供会の廃品回収の協力・毎日の買い物を通して近所のお店との交流や施設開催の秋祭り・毎月の学ぼう会・居酒屋「庵」に地域の人々やご利用様と共に参加し交流している。	地域の園児との交流や、公園や商店街での住民とのさりげない挨拶や会話、また隣接施設の利用者との交流といった機会が日常的にみられます。	さらに深い地域との交流を模索・検討されているとのことで、利用者の生活の質の向上や生きがいにつながることを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて、認知症の事を説明させて頂き、少しでも地域に出て行く機会を作る努力をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日常生活の説明をし、実際にレクリエーションに参加して頂く予定。またご利用様のリスクを伝えて、色々な意見を出して頂きサービスの向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催しています。会議には町内会役員、民生委員、地域包括支援センター職員、利用者、家族などが参加し、質の向上に向けた意見交換が行われています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	包括の職員に運営推進会議に参加して頂いているが、会議の内容を記録し、市の担当者に提出している。	困難な対応が必要な時に市役所や地域包括支援センターの職員に速やかに相談する体制が整備されています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	法人では身体拘束廃止宣言をしており、また身体拘束委員を発足させ、拘束の事例がなくても話し合いを行い職員も理解している。香寿庵での課題として、鍵は防犯の関係上施錠しているが、一日の内数時間鍵をあけられないか検討中	玄関の鍵は安全上の理由で施錠していますが、隣接する介護老人福祉施設の通路とホームが直結しているため、安心感があります。身体拘束も一切見られず、全ての利用者が穏やかな表情で生活しています。	
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設実施の研修や外部のセミナーに参加し虐待を見逃さないように努めている。		

8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修などに参加行い、ご家族様に話をし、成年後見制度を利用されたご家族様もおられる。		
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時の契約の時、また改定の際は十分な説明を行い少しでも不安のない生活を送って頂けるように図っている。		
10	6 ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情ボックスの設置やご利用者様・ご家族様との会話の中で色々な意見を聞いて、c w会議や運営推進会議で反映させている。	3ヶ月に1度のケアプランの見直し時期に家族と意見交換を行い、また年2回は直接面談で意見を聞くようにしています。利用者からもさりげなくアンケートをとるなどの配慮も見られ、運営に反映しています。	
11	7 ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	管理者はc w会議にて、直接職員の意見や提案を聞くことに努め、反映できるように努めている。また代表者は役職者会議などを通して、出た職員の意見などを聞く機会を設け反映している	職員会議の場や、日々の業務の中で職員の意見を聞いています。また、毎年度の契約更新時に管理者と職員が個人面談を実施し、得られた意見を運営に反映しています。	
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回、職員のやりがいに繋がるよう職員の努力や実績を評価できる機会を設けたり、アンケートでの調査や各会議での職員の意見などを吸い上げる機会を設け、職員が意欲を持って働けるような環境・条件の整備に努めている。		
13	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	日本認知症グループホーム協会や大阪認知症グループホーム協議会への加入にて、職員1人ひとりに合った外部研修への参加や、年間の施設内研修の計画も立て、さまざまな研修に参加できるよう実施したり、各資格を取得できるよう、セミナー等の案内をお知らせすることで、働きながらトレーニングできるよう努めている。		
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	日本認知症グループホーム協会や大阪認知症グループホーム協議会への加入にて、同業者との交流や研修参加の場を作っている。22年度の相互研修を予定していたが、実績に繋がらず、23年度も相互研修に参加を検討した21年度より地域密着サービスの東大阪市介護保険事業者連絡会にも参加し、同業者との交流を深めながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所されたご利用者様は環境の変化に対応出来なくて不安な様子が現れたら、声かけや側に寄り添い話の傾聴等を行い安心して頂くよう努めている、またアセスメントシートに記入している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時色々な説明を行っているが、聞いていないと訴えられるご家族様もおられ、信頼関係が出来るまで時間がかかるが根気よく説明を行い関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者様の様子観察や話しの傾聴等で必要としている支援を見極められるように努力している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と共に調理・買い物・レクの参加を通して一緒に過ごし支え合う関係を築いている。		
19		○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様には、一緒に支えて行きましょうと伝え、ご利用者様の受診に行き下り、本人を支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚の方の面会は多く、遠方のご利用者様もおられ、一緒に行けないがご家族様が外出に連れて行って下さる（馴染みの美容室・食事・受診）	家族の協力を得ながら、利用者の希望に沿った外出や外泊などを随時行っています。また、家族が対応できない場合は外出支援サービスの紹介なども行っています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様の価値観の違いで衝突（口論）多いが、職員が中に入り関わりを持つ事で、孤立しないよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されたご利用者様の面会に行かせて頂きご家族様と話し合い退院後の不安の解消につながるよう、他のサービスを伝えフォローしている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様に安心して生活を送って頂けるには、出来る事や出来ない事の把握また、話の中での希望や思いをさぐって感じ取り、c w会議にて検討している	さりげない日々の会話の中で、思いや意向の把握に努め、得られた意見を職員会議で検討するなどの積極的な姿勢が見られます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	ご利用者様やご家族様の話の傾聴で把握して行き、センター方式に記入を行うよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の生活の様子を記入して行き、一人ひとりの心身の状態を見極め総合的に把握するように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様の近況報告を面会時や電話で伝え、ケアプラン変更・更新時はご家族様も交え職員共にケアの在り方について話し合っている、また医療的ケアについては、DRも参加で現状に即した介護計画を作成できるよう努力している。	介護計画は3ヶ月毎に内容を見直し、6ヶ月毎に更新しています。利用者、家族、医師なども交えたカンファレンスも開催し、自立支援や生活の質の向上などに日々努めています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	センター方式を取り入れ日々の様子を記入また、D-5シートに気づきを書く事により、介護計画の見直しや情報の共有に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	身体的低下や認知症が進まれても少しでも香寿庵で生活を希望されておられるご家族様のニーズに添えるようサービスを考え取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	馴染みの店での買い物で知り合いの方と話をしたりまた、家庭菜園でとれた野菜を頂く事もあり、地域で楽しく暮らせるよう支援している。		

30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前に受診されていたかかりつけ医に受診されておられるご利用者様もおられ遠方でご家族様も忙しい方や緊急時には特養併設の診療所に週4回のDR受診・往診が受けられ、看護師も日中勤務しており適切な医療が受けられる。	併設する診療所の医師や看護師から適切な医療を受けることができる上、昔馴染みのかかりつけ医に継続してかかることも可能です。外部医療機関への受診時は家族やヘルパー等が付き添いを行っています。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	毎日の様子観察で体調の変化に気づき、診療所の看護師と相談を行いながら適切な看護を受けられるよう支援をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院された場合、面会や電話を通じて病院関係者・ご家族様と情報交換行い関係づくりに努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、ご家族様の意向を聞きながらどのようなケアをして生活を送れるのかは十分に話あっているが、終末期については併設の特養入所の説明を入所時から話し理解して頂き今の所実践はいたらず。	母体法人が複数の老人福祉施設を運営していることもあり、ホーム独自で終末期のケアは実施していません。重度化した場合には適切な生活の場を紹介するなど、利用者や家族が常に安心できるように、十分配慮しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変事のマニュアルも備えており、c w会議などでも話し合いました、法人の勉強会にも参加している。消防署主催の救命救急の講習を受けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	併設の特養の職員と共に避難訓練に定期的に参加をしているが、地域との協力体制まで取り組んでいない。	春と秋の年2回、消防署の立会い指導の下、利用者参加型の非難訓練を行っています。また、災害時の備蓄もみられます。隣接施設との協力体制も充実しています。	いざという時に地域住民からも速やかな支援が得られるようなネットワーク作りに期待します。

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	c w会議にて、ご利用者様の尊厳・言葉づかいに気をつけるよう何度も話し合っ て対応に気をつけている。	職員心得の唱和を毎日行うことで、意識付けを行って います。利用者が安心して できる言葉かけや対応 を常に念頭に置いた ケアを実践していま す。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を 表したり、自己決定できるように 働きかけている	手伝いやレクの参加・ モーニングのメニュー を写真に撮り食べたい 者を決めて頂くまた、 自己決定が難しいご利 用者様には話の傾聴な どで希望を察するよう に働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先する のではなく、一人ひとりのペースを 大切にし、その日をどのように過 ごしたいか、希望にそって支援して いる	毎日ゆっくりとご利 用者様のペースに合 わせた支援をしてい るが、行事等で職員 の都合で動いて頂く 事もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃ れができるように支援している	ご利用者様はご自分 で服を選んでおら れ、コーディネート がおかしい場合は尊 厳を傷つけないよう に着替えて頂いてい る。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、 一人ひとりの好みや力を活かしながら、 利用者と職員と一緒に準備や食 事、片付けをしている	毎日買い物・調理・ 配膳・片付けを一 緒にする事で張り合 いのある生活を送ら れまた、毎食職員と お話をしながら一 緒に食事を楽しま れています。	利用者と職員が協 力しながら買い物 や準備を行い、食 事も共にしていま す。また、朝の喫 茶店風メニューや 青空ランチ、定期 的な外食や出前、 お誕生日のリク エストメニュー やお花見など、 十分な配慮がみ られます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分 量が一日を通じて確保できる よう、一人ひとりの状態や力、 集会に応じた支援をしている	栄養バランスは管理 栄養士作成の献立 を基に調理を行い、 毎食後食べた量・ 水分量のチェック を行い、一人ひと り状態を考えて支 援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じな いよう、毎食後、一人ひとりの 口腔状態や本人の力に応じた 口腔ケアをしている	朝食後・夕食後に 口腔ケアをして おり、出来ない ご利用者様には 職員が介助を行 い、異常があれば 歯科受診をして いる。		

43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表に記入していきご利用者様の排泄パターンを掴み誘導や声かけを行っている。Cw会議にてご利用者様に合った、リハビリパンツ・パットの見直しの話し合いをしている。	利用者ごとの排泄パターンを把握することで、排泄の自立支援やオムツ外し等に積極的に取り組んでいます。排泄支援に関する介護計画の内容も充実しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	各日のヨーグルトやヤクルトの提供毎朝体操をして頂き、体を動かす事により、予防に取り組んでいる。便が出ないご利用者様にはカマグを服薬されている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日の入浴の施行で希望を聞き入浴して頂いている。入浴拒否のご利用者様には拒否された場合は場面を変えて再び声かけを行っている。	週3回の入浴を目標にしています。また、しょうぶ湯・ゆず湯など、季節を感じながら入浴を楽しめるような工夫も行っています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝の声かけを行い、安心して休んで頂けるよう支援を行いました。不安で眠れないご利用者様には話の傾聴を行い安心して眠れるよう支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	カードックスやセンター方式に服薬されておられる薬を記入して、服薬の誤りがないように日付を記入、新しい薬を服薬して頂く時は症状の変化を確認するように努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご家族様から趣味等を聞かせて頂き折り紙・塗り絵・書き取り・縫物等をご利用者様に合った楽しみ事をして頂きました。不穏・不安になられたご利用者様には散歩に行くなどの気分転換の支援をしている。		

49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	何か気になり帰宅願望のご利用者様には一緒に散歩にいらっている。買い物も車イス使用で外出、ご家族様との墓参り・食事等また、香寿庵では、お花見・外食会・特養のテラス利用で緑を感じながらの昼食、お弁当風の食事を作って食べ、楽しんでいます。	日々の商店街への買い物や、緑豊かな公園への散歩、隣接する老人ホームやデイサービスなどに出かけたりもしています。また、家族等の協力を得ながら、希望の場所への外出支援も随時行っています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	財布を持っておられるご利用者様に一緒に買い物に行き、食べたいものを購入され支払いをして頂くよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご利用者様が希望されたり、用事のある時はご家族様と話す機会を作っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングに観葉植物や小物を置く事により家庭的な雰囲気になるようにしているが特養と併設しており館内放送が聞こえる為混乱されないように気をつけ声かけを行い少しでも居心地よく過ごせるような工夫をしている。	明るく清潔感のある共有空間となっています。装飾や観葉植物なども家庭的でくつろげる雰囲気を演出しています。	隣接する同一法人施設の館内放送が聞こえてくることに多少の違和感を覚えました。放送が聞こえなくても連絡系統がもれなく行えるような方法について検討されることを期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の2ヶ所にソファを置くなど一人になれる空間を確保をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	長年使用されておられたタンス・イス・写真を置かれ居心地よく過ごして頂けるよう工夫している。	家庭で使用していた愛着のある品々を思い思いに搬入しています。居室スペースも十分な広さが確保されており、掃除も行き届いているため、居心地よく過ごせる空間となっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	香寿庵内に自立した生活を送れるよう手すり等を設置して安全に使い勝手の良い工夫をしているまた、一時的に車イス使用となった場合併設の特養のエレベーターを使用、できるだけ長く自立した生活が送れるよう支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない